

鎌倉ビール醸造株式会社が気仙沼工場建設事業から撤退します

- 鎌倉ビール醸造株式会社様とは、令和4年6月に立地協定を締結し、小泉町区跡地の現在市有地である移転元地に新工場建設の計画を進めて参りました。
- しかしながら、今月7日に同社對馬代表取締役から「ロシアのウクライナ侵攻による影響で、燃料や設備機器価格の高騰、円安の影響も重なり、工場建設費用が計画当初の1.5倍を超える状況となったこと、また、工場を建設できたとしても光熱費や物流コスト等のランニング費用が当初計画より大きく増加することが見込まれることなどから、事業継続の方向性も探りましたが、誠に残念ながら新工場建設事業から撤退することを決断した」と報告を受けました。
- 本市としては非常に残念ではありますが、同社の報告を受け入れるとともに、今後も引き続き粘り強く企業誘致に取り組んで参ります。

【参考】事業計画概要（令和4年6月時点）

- ・名称：鎌倉ビール醸造株式会社 第2工場（気仙沼工場）
- ・立地予定地：気仙沼市小泉地区（気仙沼市本吉町泉）
- ・敷地面積：6,212.37㎡
- ・建物面積：2,214.88㎡
- ・延床面積：2,381.29㎡
- ・着工予定日：令和4年12月
- ・稼働予定日：令和5年10月
- ・事業内容：クラフトビール製造販売
- ・従業員：8人（令和5年度 見込み）

鎌倉ビール醸造株式会社 對馬一喜代表取締役のコメント

当社は令和3年より、気仙沼市に第2工場の建設を計画しておりましたが、社会情勢の変化等により誠に遺憾ながら本事業を継続することは困難と判断いたしました。当社では、今後も誠意を持って対応してまいりますので、事情ご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。